

完了後の評価個表

整理番号 森1-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	北海道
ふりがな 地域(地区)名	やくもちょう 八雲町	事業実施主体	北海道、八雲町、山越郡森林組合等
関係市町村	八雲町	管理主体	八雲町、山越郡森林組合等
事業実施期間	平成17年度～平成21年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 八雲町は渡島半島の北部に位置し、東は内浦湾（太平洋）、西は日本海に面し、北は長万部町、今金町、せたな町、南は森町、厚沢部町、乙部町と接している。 面積は約956平方kmで渡島振興局管内最大の面積を有し、渡島山系をはさんで東は遊楽部川、野田追川、落部川が流れ、西は相沼内川、見市川が流れており、渡島総合振興局管内有数の林業地帯である。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積は80,238ha（森林率84%）のうち、民有林面積は30,171haで森林全体の38%を占めており、内訳は私有林が25,331ha（84%）、町有林が4,840ha（16%）となっている。 民有林の人工林面積は10,654ha（人工林率35%）であり、樹種ではトドマツとスギが大半を占め、年齢構成ではⅦ齢級以下の森林が42%を占めている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意識 本地区においてはこれまでに10,654haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは除・間伐等の保育を必要としているが、木材価格の低迷等に伴い、森林所有者等の施業意欲が減退しており、森林の有する多面的機能の高度発揮が懸念される状況にあった。 また、森林経営の基盤となる林道等の路網が不十分であったことから、適切な森林施業の実施や効率的な木材生産に支障を来していた。 このため、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林において林道を開設することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として事業を導入した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 488ha、下刈 3,323ha、除間伐 2,498ha、受光伐等 123ha 作業路整備 22,586m</p> <p>森林管理道整備</p> <p>① 黒岩線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,200m 利用区域面積 540ha</p> <p>② 栄浜線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,602m 利用区域面積 511ha</p> <p>総事業費 1,330,027千円 (当初総事業費 3,460,118千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更や低コスト化に伴い、事業採択時に比べ総事業費・総便益・総費用が減となった。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>25,278,700千円</td> <td>(事業採択時 29,678,012千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>4,362,233千円</td> <td>(事業採択時 8,586,041千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>5.79</td> <td>(事業採択時 3.46)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	25,278,700千円	(事業採択時 29,678,012千円)	総費用 (C)	4,362,233千円	(事業採択時 8,586,041千円)	分析結果 (B/C)	5.79	(事業採択時 3.46)
総便益 (B)	25,278,700千円	(事業採択時 29,678,012千円)								
総費用 (C)	4,362,233千円	(事業採択時 8,586,041千円)								
分析結果 (B/C)	5.79	(事業採択時 3.46)								

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたトドマツやスギ等の成長は良好で、間伐等を実施した個所とともに多様な環境を持つ健全な森林として育成されており、木材生産のほか水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p> <p>林道開設により、路網から500m未満となる森林面積が開設前の88%に対して100%となり、開設前は既設公道から利用区域内森林の中心部まで約3,000mを歩行していたのに対して自動車での到達が可能となるなど、森林へのアクセスが容易となった。</p> <p>また、利用区域内の間伐・保育作業及び適期を迎えた主伐がなされ、整備前は5年間で31haだったが、整備後は、5年間で約290ha実施されるなど森林施業が活性化された。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備された森林は「八雲町森林整備計画」に基づき、森林所有者自ら、又は、森林所有者から経営委託された森林組合が適正に管理を行っており、特に植栽を実施した森林については、その後も下刈等の保育施業が適切に実施されている。</p> <p>本事業により開設された林道は、八雲町が定めた林道維持管理規則に基づき適切に管理されている。</p>
---------------------	---

<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林組合等による伐採や植栽、除伐・間伐等の実施面積が開設前と比べ10%増加するなど、森林施業の実施に対する意欲が向上してきている。 森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>林道整備により、作業現場へのアクセス改善、集約化による森林施業コストの低減が図られることで、森林所有者による森林施業の意欲が徐々に高まってきており、持続的な森林経営と間伐等の生産性向上が図られるとの期待がより一層高まってきている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。林道の開設後は、沿線の小渓流等への散策へ訪れる者が増加してきているとともに、森林災害等の早期発見に寄与している。(八雲町) ・ 森林施業の集約化を図り低コスト化を促進し、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、計画的かつ効率的な施業の実施に努める必要がある。(山越郡森林組合)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地元の意見にも見られるとおり、本事業の実施後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されていること。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備に当たっては課題である間伐・造林を優先的に実施していること、林道整備に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 林道が災害時の迂回路としても機能していること等から、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

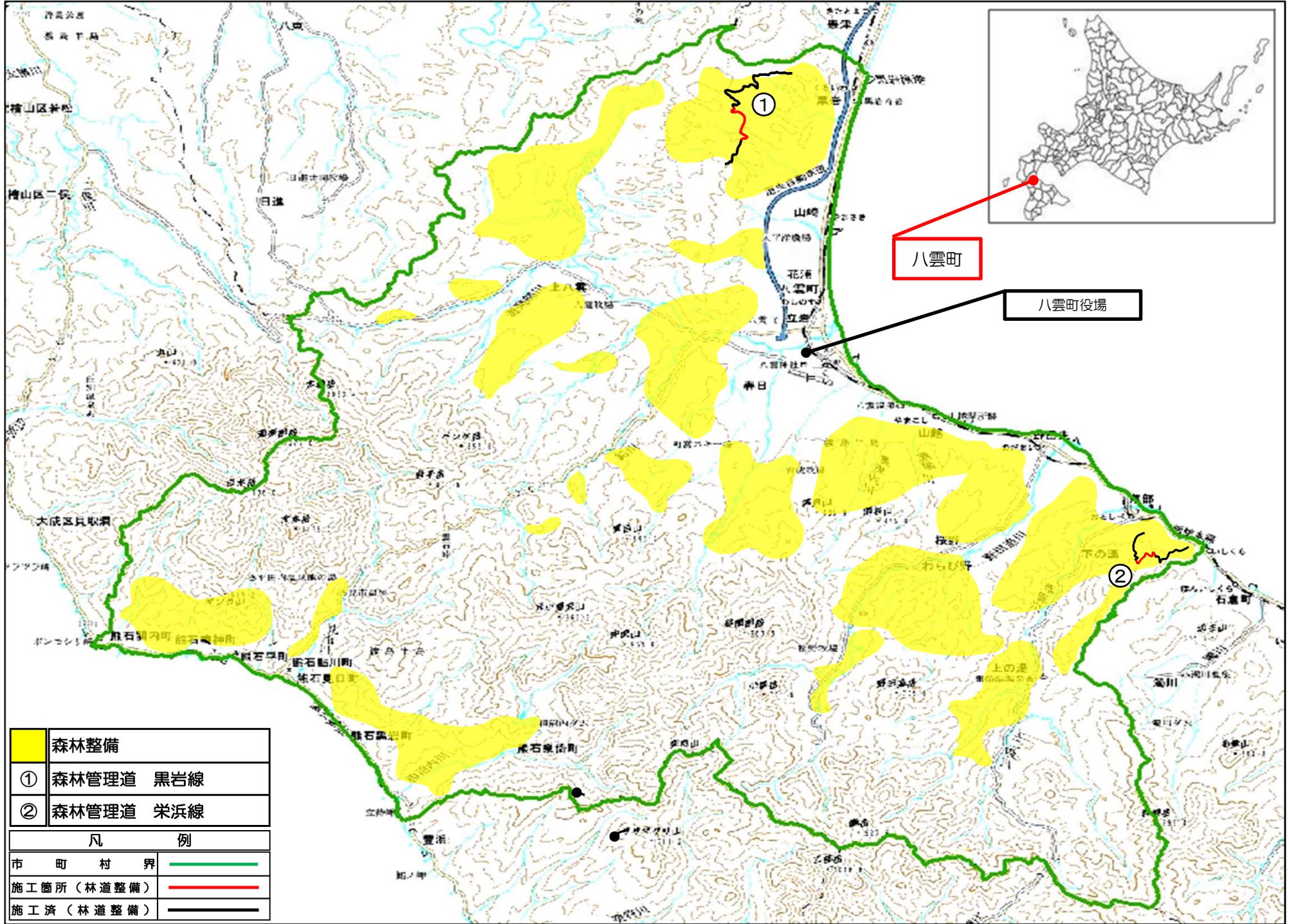
都道府県名:北海道

地域(地区)名:八雲町^{やくもちょう}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,732,819	
	流域貯水便益	1,819,822	
	水質浄化便益	3,980,239	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,025,391	
	土砂崩壊防止便益	1,141,104	
環境保全便益	炭素固定便益	2,294,731	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,216	
	木材生産確保・増進便益	2,278,111	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	267	
総 便 益 (B)		25,278,700	
総 費 用 (C)		4,362,233	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,278,700}{4,362,233} = 5.79$		

森林環境保全整備事業 八雲町地区 概要図 【北海道】



八雲町

八雲町役場

	森林整備
①	森林管理道 黒岩線
②	森林管理道 栄浜線

凡 例	
市 町 村 界	
施工箇所（林道整備）	
施工済（林道整備）	